

# 災害対策用移動通信機器の貸出機器

災害時には被災自治体に対して、北海道災害対策本部等とも連携し、移動電源車や連絡用無線機等をプッシュ型により貸与するほか、臨時災害放送局の開設を支援します。また、平時の防災訓練での活用も可能です。

令和6年度からは能登半島地震の災害復旧活動等で活躍した衛星インターネット（スターリンク）等が貸出し可能となりました。

放送設備	周波数	送信出力	空中線系	付属装置
臨時災害放送局用機器 2設備（全国22設備）	76.1～94.9MHz	10～100W	アンテナ、伸縮マスト(1.3m～6m)、同軸ケーブル20m、ダミー抵抗（自然空冷式）	マイク、ヘッドホン、電源ケーブル（ドラム30m）等



災害対策用移動通信機器	特徴
衛星インターネット（スターリンク） 4台（全国46台）	携帯電話が使えない場所でWi-Fiを多人数で使える ポータブル電源、小型発電機もセットで貸出し可能
簡易無線：50台（全国995台）	途中に壁など遮るものがなければ、3～4km程度の距離で通信が可能
MCA無線：10台（全国179台）	サービスエリア内のMCA端末間(中継局を中心に半径30km程度)で通信が可能
衛星携帯電話（ワイドスター-II、イリジウム、 アイサットフォン）3台（全国41台）	南方の空が開けている屋外もしくは窓際に設置（イリジウムは天頂が開けている屋外）することで、携帯電話が通じない場所からの電話連絡が可能
公共安全モバイルシステム：2台 （全国24台）	携帯電話技術を活用した公共安全関係機関向けの無線システム トランシーバーアプリ搭載
可搬型蓄電池：6台（全国78台）	スターリンクの連続使用時間：約12時間程度 1512Wh
ICTユニット：1台（全国11台）	ICTユニットのWi-Fiエリア内でスマートフォン同士の音声通話等が可能 また、衛星携帯電話等の外部通信回線と接続し、遠隔地との音声通話も可能
公共ブロードバンドシステム 全国11台(東京、大阪で保管)	災害等の現場において、対向通信により、映像伝送などのデータ通信が可能なVHF帯を使用した無線システム。伝送距離は最大25km程度



移動電源車等	定格出力	定格電圧	連続稼働時間
移動電源車 1台	単相 5.5kVA	100V	36時間程度
移動電源搬送車 1台	搭載発電機 ガソリンタイプ：単相 2.8kVA LPガスタイプ：単相 2.2kVA	100V	ガソリンタイプ：11時間程度 LPガスタイプ：10時間程度
小型発電機 2台	ガソリンタイプ：単相 1.6kVA	100V/12V	定格負荷時：4.2時間 1/4定格負荷時：10.5時間



<問合せ先> 北海道総合通信局防災対策推進室 電話：011-747-6451 携帯：090-1525-0101（夜間・休日）

2025.4